DX時代の情報システム部門（組織・人）のあり方【オンラインライブ】（4126220）

デジタルトランスフォーメーション（DX）が叫ばれる中、社内情報システム部門は今後どのような役割を果たすべきか、また、組織内の人材はどのような知識を身につけ、いかなるマインドセットで臨む必要があるかについて、講師の32年のユーザー企業情報システム部門と直近8年のITコンサルタントの経験から、レクチャーさせていただきます。

開催日時	2027年3月2日(火) 9:00-16:00ライブ配信
JUAS研修分類	ビジネスアーキテクト(経営戦略・組織戦略・ガバナンス)、ビジネススキル(チーム・リーダーシップ・指導力)
カテゴリー	共通業務（契約管理、BCP、コンプライアンス、人的資産管理、人材育成、資産管理）・セキュリティ・システム監査 専門スキル
講師	中山嘉之 氏 （株式会社アイ・ティ・イノベーション プリンシパルコンサルタント、元 協和発酵キリン（現：協和キリン）情報システム部長 ） 1982年より協和発酵工業（現・協和キリン）の情報システム部にてDBモデラー兼PMを務める。2005年からシステム部長とアーキテクトの2足のわらじを履き、2010年「エンタープライズ・データHUB」を完成。2013年よりアイ・ティ・イノベーションのコンサルタントに転じ、数多くのユーザ企業のITアーキテクチャの設計に携わる。2023年「エンタープライズアーキテクチャのセオリー」を執筆。
参加費	JUAS会員企業/ITC：35,200円 一般：45,100円（１名様あたり　消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信（指定会場はありません）
対象	情報システム部門の責任者・管理者 中級
開催形式	講義
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態
ライブ配信（Zoomミーティング）【セミナーのオンライン受講について 】
■テキスト
開催７日前を目途にマイページ掲載
■開催日までの課題事項
特になし

デジタルトランスフォーメーション（DX）が叫ばれる中、社内情報システム部門は今後どのような役割を果たすべきか、
また、組織内の人材はどのような知識を身につけ、いかなるマインドセットで臨む必要があるかについて、
講師の32年のユーザー企業情報システム部門と直近8年のITコンサルタントの経験から、レクチャーさせていただきます。

＜主な内容＞
CHAP1. 企業システムの向かう先
・情報システム部門の役割と技術の変遷
・近年の企業システムへの要請
・基幹系システムと新領域の融合
・企業グループ全体のITガバナンスを考える
・システムSCOPEのグローバル化
・EAの可視化で複雑化する社内システムを管理

CHAP2. 次世代情報システム部門の役割と組織
・パートナーとの役割分担とその方向性

・攻め：事業のデジタル化の牽引役に
・守り：企業活動の見張り役に
・次世代情報システム部門のケイパビリティ
・次世代情報システム部門の組織体制（理想像）

CHAP3.情報システム部門内社員のあり方
・情報システム部門トップの目指す姿
・情報システム部門ミドル社員の知識レベル
・情報システム部門若手社員の育成

CHAP4.情報システム部員のマインドセット
・ポジティブシンキング
・大いに越境すべし
・システムを“作る”ではなく“創る”へ
・ユーザーヒアリングのまんまシステムを作らない
・コツコツと地道に継続する姿勢
・発想は大胆に実行は慎重に

■参加者の声
・知らないことを網羅的にわかりやすく教えて頂いた。
・基本的な考え方でもあるので、IT部門に属する人は受講する価値があると思った。
・情報システム部門の組織能力向上や変革を目指す人、もしくは、それを支援する人にとってはヒントになると思う。